

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
教職原論		相良 亜希	講義	2	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	栄養教諭二種免許必修			
学習目標	<p>自らの職務に対して使命感を持ち、適切にその責務を担うことの出来る栄養教諭となるために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職の意義および役割について理解する。 2. 教員の職務内容（研修、サービスおよび身分保障を含む）について具体的に理解する。 3. 教員を取り巻く昨今の教育行政、地域、家庭との関係について知る。 4. 教員をめぐる新しい動きを踏まえ、今後教師に求められる資質や能力について考察する。 				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	教職とは何か	教師像の変遷、今とめられる教師像			
2	教員と法の関係	教員と教育法規の関係、法規学習の基本			
3	教員になるには	教育職員免許の種類と効力、教員養成制度、教員採用選考試験			
4	教員の職務	教員の種類、職務内容および組織・運営上の役割			
5	教員のサービス	職務上の義務と身分上の義務			
6	教員の身分保障	基本原則および懲戒処分、分限処分			
7	教員の勤務条件（1）	勤務時間の割り振り、時間外勤務、休息、休憩時間			
8	教員の勤務条件（2）	出産・育児休暇（休業）制度、女性教員の勤務条件の特例、公務災害補償、給与制度			
9	研修（1）	教職の専門職性、各種研修の目的・内容			
10	研修（2）	研修プログラムの体験			
11	学校事故	学校事故の種類と対応、学校事故の判例、教員の注意義務			
12	教育行政の仕組み	文部科学省、教育委員会、地方公共団体の関係と役割			
13	地域・家庭との連携	地域住民・保護者との関係づくり、学校評議員、学校運営協議会、学校評価			
14	教員をめぐる新しい動き	教員免許の更新制、新たな教員評価システム、主幹制、指導力不足教員			
15	これからの栄養教諭	栄養教諭が当面する諸問題や課題、目指す栄養教諭像			
参 考 書	<p>古橋和夫編「教職入門 未来の教師に向けて」萌文書林 2007 窪田真二・小川友次「教育法規便覧 平成23年度版」学陽書房 2010</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	グループでの討議を適宜とりいれるので、討議に向けての準備（授業時間外での自己学習）を含め、積極的に参加すること。				
評価の方法と時期	期末試験における筆記試験と、グループ討議への参加状況及び出席状況で総合的に判定する。				